

平成28年度 第1学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した工夫と課題	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ☆相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す力を身に付けさせたい。 ・身近なことや体験したことをもとに、順序立てて話せるようにする。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・いきなり全員の前で発表をさせるのではなく、まず初めに隣の児童とのペア活動、その後グループ活動を通し、全体への発表へと繋げていった。	☆相互の学び合いと手立て ・友達から発表への意見を言ってもらうだけでなく、付箋やワークシート等に直接記入してもらうことによる、良かった点や改善点の視覚化。 ・似たような題材の児童を意図的に編成したグループを作成。 ・発表を聞くときの観点を明確化。
算数	【課題】 ☆計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして表す力を身に付けさせたい。 ・計算が出来るだけでなく、何故その計算になったのか、理由を言葉や具体物を用いたりして表せるようにする。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・実際にブロックをお話の通りに動かしたり、並べたりすることで感覚的に加法や減法の意味を理解させる。同時に、絵やブロックの操作をもとに、自分で式を立てたり、問題文を作ったりする活動を行った。	☆教材の開発と工夫 ・ブロックや図等の教材の十分な確保。 ・個々のレベルに応じたヒントカードの作成。 ・ICT教材を用いた教材の視覚化。 ☆相互の学び合いと手立て ・動作を伴った説明を発表し合う、ペア活動時間の確保。
生活	【課題】 ☆身近な人々、社会や自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらの気付きや楽しかったこと等を、言葉や絵、動作で表現する力を身に付けさせたい。 ・ワークシートに絵や言葉で、個々の気付きや思いが表せるだけでなく、手振りや身振りを使って友達に伝え合ったりする活動をする。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・育てている植物や、校外学習で見つけた生き物等の大きさを、自分の身長などの辺りにあたるのか、自分の手のひらの大きさよりどれ位大きいか、実際に表現する活動を行った。	☆相互の学び合いと手立て ・他の児童の発表を聞くことで、新たな気付きを発見し、その気付きをもとにした主体的な活動。 ☆補助資料の活用 ・視覚的な気付きだけでなく、植物や動物等の言葉を話せない生き物の気持ちを考えさせるワークシートの活用。
体育	【課題】 ☆簡単なきまりや活動を工夫して、様々な運動が楽しくできるとともに、基本的な動きを身に付けさせたい。 ・様々な運動遊びを通して、自分の体の動かし方を知り、きまりを守って安全に遊ぶことで、体を動かすことが楽しいと思えるようにする。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・難しい活動をいきなりするのではなく、段階を踏んで少しずつ難易度を上げていくことにより、児童が活動に達成感をもつことで遊びを通して、運動が好きになるように配慮した。	☆ことばの吟味 ・技能の上手い子や手本を見せ、何が自分と違うのか言葉で表現させる。 ・短い言葉で、運動のポイントをまとめる。 ☆補助資料の活用 ・児童の発言をもとにした、運動のポイントの掲示。 ・運動技能の段階に応じて難易度を変えた課題の用意。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		